

2017

市民向け臨床心理学講座

# 九大こだちゼミナール

## ～ハカセが おしえる ココロの ひみつ～

「九大こだちゼミナール」は今年度で8回目となる、市民の方向けの心理学の講座です。九州大学の心理学を専門とする教授陣が毎回さまざまなテーマで臨床心理学をはじめ、心理学の諸領域や精神医学についてわかりやすい講義やワークを行います。

心理学やこころの問題に関心をお持ちの方でしたら、どなたでもご参加いただけます。毎月のゼミを通じて、あなたの日々の暮らしが豊かになれば幸いです。



**日時** (1回2時間, 全8回)

第1回 6/24 (土) 14:00~16:00	第5回 10/21 (土) 14:00~16:00
第2回 7/22 (土) 14:00~16:00	第6回 11/11 (土) 14:00~16:00
第3回 8/19 (土) 14:00~16:00	第7回 12/16 (土) 14:00~16:00
第4回 9/16 (土) 14:00~16:00	第8回 1/13 (土) 14:00~16:00

(各回の内容につきましては別紙をご覧ください。)

**場所** 九州大学西新プラザ 2階 中会議室 (福岡市早良区西新2-16-23)

**受講料** 30,000円 (2017年度 NPO 会員は 27,000円)

**定員** 30名 (先着順)



### 特定非営利活動法人

### 九州大学こころとそだちの相談室

理事長 黒木俊秀 (九州大学教授)

〒814-0002 福岡市早良区西新 2-16-23  
九州大学西新プラザ産学交流棟

地下鉄西新駅 7番出口より徒歩 10分。

お車の方は、周辺の有料駐車場をご利用ください。



**TEL 092-832-1345**

**WEB 検索** 九州大学こころとそだちの相談室

- \*当相談室は、九大OBの臨床心理士が中心になり、臨床心理学によるコミュニティ支援のために活動しているNPOです。
- \*NPO会員として活動を支援くださる方を募集中です。詳しくはお問い合わせください。





### お申し込み方法

受講申込書を当相談室までFAXされるか、  
 またはご郵送ください。申込書確認後、当相談室から申込書受け付けのご連絡をいたします。  
 期日までに受講料をお振り込みください。申込書とご入金を確認できた時点で申込完了となります。

振込先 ◆ゆうちょ銀行

口座番号：01780-4-42505

口座名義：九州大学こころとそだちの相談室

※他銀行ATM等からのお振込みの場合↓

金融機関コード：9900

店番：179 店名：一七九店

預金種目：当座 口座：0042505

NPO 法人九州大学こころとそだちの相談室行き

FAX 092-832-1346

申込日 2017年 月 日

## 九大こだちゼミナール 2017 受講申込書

NPO 法人九州大学こころとそだちの相談室 行き

標記講座の受講を申し込みます。

ふりがな			
氏名			
性別	男 ・ 女	年齢	歳
住所	〒 —		
電話番号	自宅		
	携帯		
メールアドレス			
職業			
講座を知ったきっかけ	広告（リビング ・ 他 ） ・ こだちからの案内 知人の紹介 ・ その他（ ）		

\*一旦納入された受講料は返金いたしませんので予めご了承ください。

\*取得した個人情報は講座運営、各種講座のご案内の目的以外には使用いたしません。

※当相談室使用欄

申込受付日：

入金確認日：

第1回  
6/24

自己理解と人間関係

増田 健太郎 教授  
(臨床心理学)

人間関係に悩んでいる人はたくさんいます。家族・学校・職場・地域での人間関係がうまくいくと、どんな状況でも乗り越えていくことができますが、人間関係がうまくいっていない場合は不登校や休職・退職、そしてうつ病になったりもします。人間関係がよければ、やる気にも繋がります。自己理解と人間関係について、わかりやすくお話しします。

第2回  
7/22

発達障害の理解と支援

田中 真理 教授  
(臨床心理学)

近年「発達障害」についての社会的な啓発もすすみ、教育、心理、脳科学などの分野においても多くの研究がすすめられています。心理学を中心に、そのような研究知見も紹介しながら、発達障害の理解を深め支援にかかしていきたいと思えます。

第3回  
8/19

日常の関に活かす「観察」と「質問」の方法

金子 周平 准教授  
(臨床心理学)

私たちはつい相手の表情などを見逃し、相手をはっきりと言っていることを聞き逃します。また、相手に尋ねればわかることを聞かなかつたせいで、人間関係が悪化したり、すれ違いが生まれたりすることもあります。今回は、日常の人間関係の中で活かせる臨床心理学の基本的な「観察」と「質問」の方法について紹介します。

第4回  
9/16

「アートとこころ」

松下 智子 准教授  
(臨床心理学)

「頭で分かって心がついていかない」、「自分では~しようと思っているのに体がいうことをきかない」というような言い回しがあるように、人の心や体は論理的な部分だけでは表現しきれないところがあります。自分の気持ちの整理や他者への理解について、簡単なアート表現を用いた実習を通して考えます。

第5回  
10/21

覚えることと忘れることー記憶とはー

中村 知靖 教授  
(心理学)

日常生活の中で私たちはさまざまなことを覚えますが、忘れてしまいます。覚えたはずなのに思い出せない、思い出したつもりでも間違っていたということがあります。どうしてこのようなことが起こるのでしょうか。その謎を解くために、記憶の仕組みについてお話しします。また、記憶力向上のためのヒントについても紹介する予定です。

第6回  
11/11

こどもの育ちと養育

小澤 永治 准教授  
(臨床心理学)

児童虐待に代表されるような子育てに関する困難は大きな社会的問題であり、社会全体で理解や対応を考えることが重要です。こどもの育ちと養育との相互的な関係を心理学の知見から振り返ると共に、家庭以外の場所で育つ子ども達への支援について考えていきたいと思えます。

第7回  
12/16

障がいをもつこどものきょうだいを支える

遠矢 浩一 教授  
(臨床心理学)

障がいをもつこどもたちの「きょうだい」は、家族の中でいろいろな役割を通して欠くことの出来ない大切な機能を担っています。そうしたきょうだいの思いや願いを考える機会としたいと思えます。

第8回  
1/13

不安のままに生きるー森田療法の智慧に学ぶ

黒木 俊秀 教授  
(精神医学)

森田療法は、1920年代にわが国の精神科医、森田正馬が創始した独創的な心理療法であり、今日までなお残っています。不安や恐怖は人間が生きるための欲望と表裏の関係にあるとみなし、「不安をあるがままに生きる」ことを説いた森田療法の考え方とそれを応用した精神健康法を紹介したいと思えます。

\*担当講師、内容は変更になる可能性もありますので予めご了承ください。